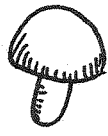


ひめだ高宏ニュース

日本共産党 和歌山市公議員

No. 928
12. 9. 26

9月定例市議会報告



9月定例市議会もあと少しになりました。今号は、日本共産党市議団の一般質問について、報告します。

堤防や橋などの防災強化を

9月12日(水)日本共産党の渡辺忠広市議は、防災問題について一般質問をいたしました。渡辺議員の地元である木ノ本連合自治会の自主防災訓練は、住民の4分の1にあたる4056人が参加して行われたとのこと。訓練参加者からの様々な要望を紹介し市の取り組みを

求めました。また、紀ノ川の堤防が砂を中心にした構造で水がしみこむと決壊の恐れがある「浸透破壊」であることや、津大川にかか

るわが2・5mの橋が崩壊するだけで400もの世帯が孤立すること、沿岸にある重油タンクの危険性を指摘して、防災対策の強化を求めました。

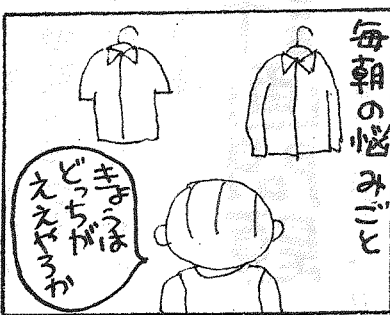
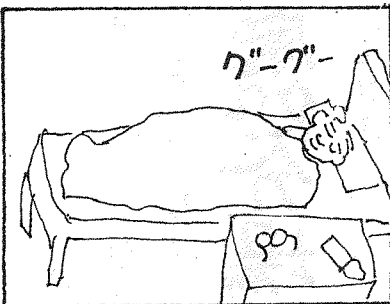
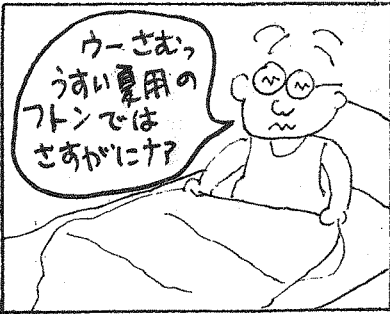
渡辺議員は、民間業者が開発した分譲地に設置された公園の遊具で附近の子どもがケガをしたことに関し開発した業者がなくなった公園の管理や古くなつて危ない遊具の撤去などは市が責任を持つて行うべきだとして市の考えを質しました。

介護保険料・利用料減免を

9月13日(木)日本共産党の松坂みちる市議は、介護保険料について一般質問を

しました。松坂議員は、高すぎる介護保険料や利用料について、「利用料を払う

フリーの人々



のがしんどいから使われへ一人」「介護保険いうてモッ

こんにちは
日本共産党の
ふじい健太郎
です。
(その338)

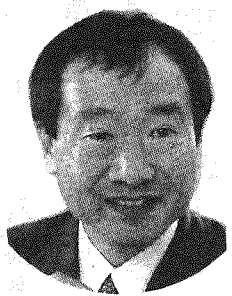
お店のお客さん用の駐車場がなくなる。

今、中之島でこの問題に取り組んでいます。JR紀和線の敷地の一部を商店街組合が賃借して駐車場として使用しているものが、鉄道高架事業に伴い高架下を駐車場として利用させないというものです。

かつては、多くの小売商店が集積し、市場や商店街をつくって賑わっていました。近くに大手スーパーがいくつも進出し、今ではクリーニング、生花、弁当、野菜、魚、お菓子の店が残るだけで

組合も解散してしまいました。市の高工課は組合がないのでと、相手にはしてくれませんし、駐車場はもう必要ないのではという態度です。

しかし、残ったお店にとっては駐車場のあるなしは死活問題とのことで、これ以上、お店を減らさず、できれば進出してくめるお店をふやしたい、そのためにも駐車場は必要だといわれています。私もなんとか駐車スペースをつくって、将来に希望を託したいと思つて、市や地元自治会とも話を続けていこうと思つて



ふじい健太郎
前県議員

ない年金から保険料を天引きされるだけや」という高齢者の切実な声を紹介して、低所得者への介護保険料や利用料の市独自の減免策を求めました。これに対して、担当の健康局長は、低所得者への減免を実施しないようしぼりをかける国の見解を理由に、介護保険料や利用料の減免は実施しないと答弁しました。

松坂議員は、精神疾患について、早期発見・早期治療や退院後のケアの重要性を指摘し、本人を支え、相談に乗り、地域社会への復帰を手助けする場が必要だと

滝畑の産廃処分場計画問題

9月18日(火)日本共産党の南畑さち子市議は、滝畑の産廃廃棄物最終処分場計画について一般質問をしました。南畑議員は、処分場予定地に隣接する大阪府阪南市で産廃業者が6月に開いた説明会について「ア

と提案し、精神疾患に対する市民の理解を深めることや社会復帰への取り組みの強化を求めました。

9月18日(火)日本共産党の南畑さち子市議は、滝畑の産廃廃棄物最終処分場計画について一般質問をしました。南畑議員は、処分場予定地に隣接する大阪府阪南市で産廃業者が6月に開いた説明会について「ア

スベスト、環境汚染、大洪水、地震対策、施設設置後の安全管理などに関する住民からの質問に「検討中」を繰り返して産廃業者が説明責任を果たしていない」として阪南市民の怒りの声を紹介し、このような産廃業

安心・安全の中学校給食を

9月19日(水)日本共産党の森下さち子市議は、中学校給食について一般質問をしました。森下議員は、10月から実施予定のデリバリー方式による中学校給食の業者選定における安全基準について質問。小学校給食の調理にかかわる民間委託業者の選定基準にある「過去3年間に食中毒を起したことがない」という項目が、中学校給食の業者選定には入っていないことを指摘し、その理由を質しました。教育長は「業者のうち、業者が昨年末に食中毒により7日間の営業停止を受

していることを指摘して、遮水シートの設置基準や市の見解を質問。担当の市民環境局長は「説明会は十分だった。遮水シートの設置は環境省基準による設置を定める」と答弁。

9月19日(水)日本共産党の森下さち子市議は、中学校給食について一般質問をしました。森下議員は、10月から実施予定のデリバリー方式による中学校給食の業者選定における安全基準について質問。小学校給食の調理にかかわる民間委託業者の選定基準にある「過去3年間に食中毒を起したことがない」という項目が、中学校給食の業者選定には入っていないことを指摘し、その理由を質しました。教育長は「業者のうち、業者が昨年末に食中毒により7日間の営業停止を受

けたことを明らかにしましたが、「さち子市は審査で安全性が確保できた」と基準の見直しもせず10月から実施すると答弁。森下議員は支給額が国基準を満たさず、中核市の中でも低水準にある本市の就学援助の改善と、国基準に追加されたクラブ活動、生徒会、PTA会費の支給を求めました。

日本共産党



9月21日、野田首相が次のように述べました。「笑顔が広がる国をみなさんといっしょにつくりたい」。この発言は、民主党政代表選挙で当選を決

めた直後のものです。国をくいたものです。国民の反対をおしきって消費税増税の法律を強行し、原爆ゼロは言葉だけで何の裏づけもない方針をきめておいて、「笑顔が広がる」とは、あき水てしまいます。国民の命を守り、生活に希望と安心が得らひる、真に「笑顔が広がる国づくり



くにいげ 秀明 (衆院1区)

「が必要だと、この発言をきいてあらためて思いました。消費税に頼らない社会保障の財源づくりや、自然エネルギーの爆発的な普及こそ求められていま

消費税増税撤回、TPP参加反対、原爆ゼロの日本へ
 総選挙勝利をめがけ
学習決起集会
 10月6日(土) 13:30~16:00
 海南海流センター (下津町)
 宮本たけし無党派議員が
 お誘いします。
 党と経団連の共催です!